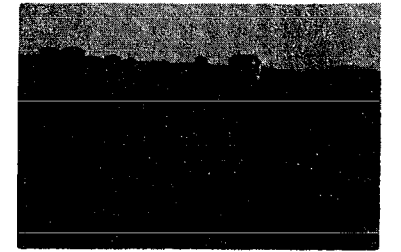


一般農道(西萱場地内)の建設進む!!

昭和五十二年度に二千五百五十六万七千円の予算が配分された一般農道(老人憩の家より下手)五百十七メートルの工事は、株式会社宮川組及び株式会社吉田建設と請負契約が終了、着工され、現在、その完成を目指して建設が進められています。

工事期間中は、何かと迷惑をおかけいたしますが、もう少しで立派な道路になってお目見えする予定です。

工事の進行に、よろしくご協力をお願いいたします。



急ピッチで進む工事

大橋さんから寄附

大宇月漏在住の大橋正義さんは、さきに新居を建築されたが、教員住宅に居住して、「村に大変お世話になった。」と、この度、村に十万円を寄附されました。

村では、この寄附を大橋さんの善意に添って、教育器材、教育図書を購入に有効に使わせていただくことにしました。

善意を本当にありがたうございました。

二月の保健衛生事業日程

日	曜日	事業名	対象等
13	月	二才児検診 (歯科検診もやります)	50・8・1生児
14	火	一才児検診	51・1・31生児 51・8・1生児
17	金	三混 (百日せき、ジフテリヤ、破傷風) 一回目	二才・四才迄の幼児で第一期、第二期を完了しない者
21	火	三才児検診 (歯科検診もやります)	49・8・1生児 50・1・31生児
23	木	血圧検診	地域全村民 於月寿荘
24	金	乳児検診	52・4月・5月生児 52・10月・11月生児
28	火	乳児検診	於西公民館

二月の公民館事業日程

日	曜日	事業名	会場
12	日	村民スキー	須原スキー場
19	日	家庭教育学級	西公民館
22	水	老人学級	月寿荘 午前十時

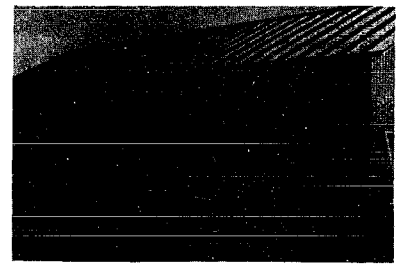
- ◎スポーツ教室 毎週土曜日 夜七時三十分
- ◎ママさんスポーツ教室 毎週土曜日 夜七時三十分
- ◎スポーツ少年柔道 月 中 毎週火曜日 夜七時
- ◎おはようサイクリング 毎週第二・四日曜日 朝六時三十分

育苗施設が竣工

農村地域工業導入特別対策事業の昭和五十二年度分として、曲通農機具利用組合が施工中の育苗施設が12月27日竣工しました。

鉄骨造平屋建、床面積七、七六㎡(二三、五坪)事業費三三〇万円の施設です。

この施設の完成により、これまでの個人栽培から共同作業へと、一貫機械化作業体系を確立し、生産性の向上と農業近代化が図られることとなります。



竣工した育苗施設

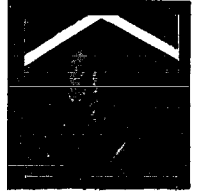
曲通農機具利用組合

心からお悔みを

最高長寿者 曾山ナカさん死去

本村での最高長寿者であった約寄の曾山ナカさん(97才)は、去る十二月二十一日、家人、親せきに見守られて永眠されました。

ここに皆様にお知らせし、併せて心からご冥福をお祈り申し上げます。



喜ぶ石田さん

たたみ、じゅうたんは お元気ですか？

基本的な手入れ
たたみは足ざわりが生命。よほどのことがない限り、水ぶきは禁物です。ひどい縮ぼりは、茶ガラなどをまいて掃きとります。

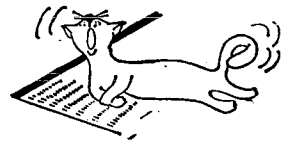
じゅうたんは手動ローラーか電気掃除機で毛足にそって、ゴミ、毛玉を吸い取ります。茶ガラ掃除はいけません。年に1~2度陰干しにし、裏からたたいてホコリを出します。1~2年に1度はクリーニングに出したいものですが、家庭でするときは、カーペット専用のシャンプーが市販されています。

ときどき、熱湯で固く絞った雑布でていねいに拭いても、相当効果があります。

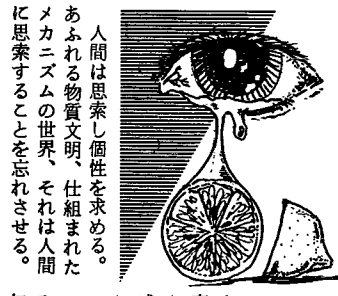
ものをこぼしたら
食べこぼしの固形物は拾い、水分は乾いた布やティッシュペーパーなどで吸いとり、洗剤入りのぬるま湯で絞った布でたたき拭きします。残ったカスは乾いてからていねいにとります。

灯油、インク、コーラなどは、すぐなら小麦粉か塩をまいて吸収させ、インクは、そのあと酢で拭きます。コーラは、家庭用エチルアルコールと水とを半々にして、布をかたく絞り、軽く拭きます。

たたみもじゅうたんも、みなさんのお手入れを待っています。きれいにしよって、快適な生活を送りましょう。



思索の恢復



人間は思索し個性を求め、あふれる物質文明、仕組まれたメカニズムの世界、それは人間に思索することを忘れさせる。

個性なきメカニズムの世界、思索なき人生、それは人間性を放棄することである。自然の美しさ、風土に根ざしたやさしい情感、それは長年に亘って培われた先人の思索の凝縮でもある。

詩は思索が磨く個性の美、そこから人間性の恢復を求める。それこそわれわれが指向する俳句である。

十二月作品

外灯の届くところの柿紅葉
陽だまりの庭に干し豆の種
うそ寒や信濃の蕎麥をすりをり
民謡で秋の街行く鼓笛隊
野良猫の寒き目にあう街の角
枯蓮の硬き音して陽が移る
秋雲となる噴煙や映の町
冬瓜を重石の如く土間に置く
七五三晴着が眠る父の背な
落葉掃く音の乾ける風の朝
父一人萱を刈る背に陽は果て、
木枯や風に流るゝ夕鴉
着せ替えて時雨に濡れし晴着吊る
軒吊の大根縄目より曲り
ポーズとり替替る袷秋の宿
食菊の酔がやゝ強よし亡父の忌

あきつ俳壇

小 峴 山 燈
詩 浪 美
和 子
詩 子
永 久
流 水
花 江
孝 治
里 代 子
昭 月
やすこ
としこ
敬 子
羅 春